

日本共産党議員団調査研究報告書

1 研修項目

「よくわかる市町村財政分析」

主催 NPO法人 多摩住民自治研修所

2 研修場所

東京都立多摩図書館セミナールーム

(東京都国分寺市泉町二丁目2番26号)

3 期 日

平成29年5月16日(火)・17日(水)

日本共産党議員団調査研究報告書

日 時	平成29年5月16日（火）及び17日（水）																
研 修 場 所	東京都立多摩図書館セミナールーム（東京都国分寺市泉町二丁目2番目26号）																
研 修 項 目	よくわかる市町村財政分析																
参 加 者	久野たき																
研 修 内 容	<p>(1) 自治体情報の電子化と公開性 地方分権一括法の施行(2004年4月)後、決算カードなどの財政情報が開示されたことを第1ステージとすると、類似団体比較カードや地方交付税算定台帳、財政状況資料集などの開示は第2ステージに入ったと言える。 決算カードを作ったことで、経年的に自市の財政状況を確認することができるということであった。</p> <p>(2) 議会・市民から見た財政の使われ方 市町村固有の社会状況や財政運営などに視点を当てて考える必要がある。</p> <p>(3) 様々な「財政指標」見方・読み方・使い方 配付された分析用紙を使い、決算カード等の財政情報を記入した。</p> <table border="1" data-bbox="391 929 1204 1332"> <tr> <td>分析表 1</td> <td>決算額の推移</td> </tr> <tr> <td>〃 2</td> <td>歳入決算額の構成（額）比の推移</td> </tr> <tr> <td>〃 3</td> <td>歳入の体系</td> </tr> <tr> <td>〃 4</td> <td>経常一般財源の推移</td> </tr> <tr> <td>〃 5</td> <td>決算額の科目順位（目的別歳出）</td> </tr> <tr> <td>〃 6</td> <td>目的別歳出の「充当一般財源等」の科目順位</td> </tr> <tr> <td>〃 7</td> <td>性質別歳出の科目順位と推移</td> </tr> <tr> <td>〃 8</td> <td>財政指標の推移</td> </tr> </table> <p>(4) 類似団体比較カードと財政状況資料集を使い自治体財政を読み解く 類似団体との比較は自治体の財政を捉えていくために有効な手法である。財政状況がかけ離れている科目や指標を把握し地域特性によるものなのか、財政運営によるもののかなどを分析することが重要であるということであった。</p>	分析表 1	決算額の推移	〃 2	歳入決算額の構成（額）比の推移	〃 3	歳入の体系	〃 4	経常一般財源の推移	〃 5	決算額の科目順位（目的別歳出）	〃 6	目的別歳出の「充当一般財源等」の科目順位	〃 7	性質別歳出の科目順位と推移	〃 8	財政指標の推移
分析表 1	決算額の推移																
〃 2	歳入決算額の構成（額）比の推移																
〃 3	歳入の体系																
〃 4	経常一般財源の推移																
〃 5	決算額の科目順位（目的別歳出）																
〃 6	目的別歳出の「充当一般財源等」の科目順位																
〃 7	性質別歳出の科目順位と推移																
〃 8	財政指標の推移																
所 感	<p>議会と市民の力で長期総合計画に財政指標を載せることができれば行政の予算編成権がだいぶ制約される。つまり、住民の声を反映させた施策ができるということを学んだ。</p> <p>そのためには議員としてのレベルを上げること、そして住民自治の力を強めることがポイントだと思った。講師の「習うよりなれろ」の言葉では財政の数字になれることで見えてくるものがあるということであったが、今回の研修では分析用紙に記入するのが精一杯の状態であった。予算より決算に注目することや、他市町（類似団体）との比較で自分のまちを知ることなど財政を読み切ることができるようにさらに学んでいきたい。</p>																